

| マテリアリティ | 戦略 | 指標・アクション | 目標年度 | 目標 | 実績(2022年度) | |
|---|-------------------------------------|---|---|---|---|---------|
| 安心・安全な カーボンニュートラル社会 への貢献 | 再生可能エネルギーの 主力電源化 | 再生エネルギー事業における純利益 | 2030 | 1,000億円規模/年 | 370億円 | |
| | | 国内外における再生エネルギーの新規開発 | | 600~700万kW | 303万kW(開発中含む) | |
| | カーボンニュートラル 社会を見据えた 事業構造変革 | 販売電力由来のCO ₂ 排出量削減 (2013年度比) | | 50%削減 | 53%削減(詳細はP22) | |
| | | 法人分野におけるCO ₂ ゼロメニュー販売量 | | 100億kWh以上 | 63億kWh | |
| | | 需要開拓電力量 | | 97億kWh以上 | 4.7億kWh | |
| | | カーボンニュートラルとレジリエンス向上を 軸としたまちづくり | | 事業を通じた地域のカーボンニュートラル推進と レジリエンス強化 脱炭素先行地域をはじめとした案件の受注拡大 | 脱炭素先行地域への採択数7件 (民間事業者の共同提案者として最多) | |
| | | 蓄電池ビジネスの成約売上 | | 2031 | 蓄電池市場規模のシェア30%(成約売上) | 38億円 |
| | | EV充電ネットワーク口数(急速充電器) | | 2025 | 15,000口 | 約7,900口 |
| EV100(自社業務車両の電動化) | 2030 | 100% | 21% | | | |
| 事業基盤の強化 | 財務戦略 | 2030年度以降の連結純利益 | 2030以降 | 4,500億円規模 | △1,236億円 | |
| | 人財戦略 | 重要経営課題への人財リソース配置数 | — | 1,281人 | 1,379人 | |
| | | 事業創造人財の創出人数 | 2027 | 2,700人 | 908人 | |
| | | DX推進人財の育成人数 | 2025 | 6,000人(全社員の2割以上) | 約2,300人 | |
| | | 女性管理職比率 | 2025 | 10% | 5.9% | |
| | 人権デュー・ディリジェンス実施率 | 2025 | 100% | 28.8% | | |
| 技術開発 | 技術戦略に基づく重点領域の推進 | 2030 | 事業化に向けた技術開発 | 国内初のP2G事業会社「やまなしハイドロジェンカンパニー(YHC)」による事業推進 | | |
| | DXの推進 | 2030 | CX/UXやEX、協創を軸としたオペレーション変革 および社会的な課題解決につながる新たなサービスの提供 | カーボンニュートラルや安定供給に資するプロジェクトの立ち上げ推進 | | |
| 原子力事業の信頼回復 | 原子力発電所の 核セキュリティ と安全の追求 | 核物質防護に係る追加検査への 真摯な対応を含む核セキュリティの追求 | — | 改善措置活動と原子力規制委員会による 追加検査の対応を完遂 | 改善措置活動を実施し、追加検査に対応 | |
| | | 安全対策工事を着実に進め、 安全レベルを向上 | | 工事未完了に係る総点検や安全対策工事 | 工事未完了案件に係る総点検が一巡 | |
| 復興と廃炉の両立 | 浜通り廃炉産業集積構築 | 浜通り地域に廃炉関連産業を集積 | — | 浜通りでの廃炉産業集積に伴う、 経済貢献/雇用創出/人材育成/賑わい創出の実現 | 廃炉関連機器製造合弁会社設立、 工場着工準備中(2023年度中) | |
| | 廃炉・汚染水・ 処理水対策 | 燃料デブリの取り出しや処理水処分における 取り組みの着実な実施 | | ALPS処理水海洋放出設備運用の 安全・品質の確保 | ALPS 処理水希釈放出設備および 関連施設の準備工事・設置工事 | |
| | | | | 迅速なモニタリングや正確で分かりやすい 情報発信 | Webサイトや冊子の多言語化、包括的海域 モニタリング閲覧システム(ORBS)の開設 | |
| 初号機(2号機)の燃料デブリ試験的取り出し 内部調査、段階的な取り出し規模の拡大 | 2号機原子炉格納容器内部調査準備 (モックアップ、隔離部屋設置) | | | | | |